

九重町将来像アンケート 結果

【質問2】九重町の今後のまちづくりの方向性について、あなたはどちらに向かうべきだと思いますか？

《①地域コミュニティの充実》を選んだ理由

移住者にとって部落に溶け込むことが最初の難関だと思います。同じ町内だとしても行政区をまたいでの引っ越しによる近所付き合いは、お互いの歩み寄りがなければ、部落に入らないこともあるようですし、その地区ごとの定期的な掃除などの参加に不公平が生じている気がします。

②コンパクトな町づくりは反対です。九重町にUターン・Iターンしてくれるような町づくり、もちろんコミュニティの充実、環境整備、魅力ある町を都会へアピールしていくべき。

移住してくれた方を含めてのコミュニティは大切。

住民自身が地域づくり評論家やギャラリー感覚からの脱皮が必要。まず、住民として自律した地域を守り、行政に頼りきりになることなく、気概と誇りをもって持続可能な地域をつくりたい。

地域の絆を大切にみんなで助け合うことの大事さ。各地区公民館が中心になれば良いと思う。

高齢者が多くなることは避けられないので、住みやすさを皆で考えていくことが大事と思う。

不便でも、代々受け継いだ土地で暮らす事を選んでしまう。それしかできない現状がある中で、少しでも住みやすい地域のつながりが大切だと思います。

中心エリアに集住するというのは難しいと思う。今の土地を離れがたい人が多いのではないか。

②は、現実的に考えて無理と感じる。

20年後の人口減少を考えるのではなく、人口増計画を考えられないのか？地球温暖化に伴い、高冷地である九重町は有効利用できるのでは？

人口減少の中で、お互いの絆を深めあることが大事だと思います。互助の気持ちで生活することで、長く住み続けられる地域になります。

高齢化で殆んどの人が年金暮らしになり、支出が重くなる。経費の予算化の段階から、前年からの必要性を見直し、とにかく無駄を省き費用の節減をして税金を軽くすることを望む。

住みなれた場所で住み続けることができるように町民で助け合える町づくりができたら嬉しい。困ったときに頼れる場所があったら嬉しい。集まりやすい場所がほしい。

現在もそれぞれの地域で公民館でもステキな取組がありとても良いなと思います。これからも、それを充実させたり、進化させたりして続けて行ってほしいと思います。いつもありがとうございます。

集える場所づくりをし、困り事を話し合えるなどして、問題解決できたらいいなと思います。

高齢化が進む中で近所の方々が助け合って暮らしていけたらと願います。

住宅を建設しても、その地域住民との交流等がない。単独のほうが良いとの考えであれば、地域住民との交流も生まれない。区をたくさん作ることにものなる。広報等も直接郵送にしている状態で良いのか？

コンパクトな町づくりは積極性に欠ける。自然に消滅の道を辿る。

「コンパクトな町づくり」とは、どういう事をイメージしているのでしょうか？
行政が動きやすいための町の形づくりをするためにコンパクトに人を動かすのか。人が少ないゆえに、せっかく頑張っている。1人1人を「いかに活かす（生かす）か」の行政づくりに工夫するか。
コミュニティの充実とはいえ、そこに住んでいる人の力をいかに活かすか否かの行政の力が試されると思うのです。
そのための町の行政の人材の育成も重要ではないかと。

コンパクトな町づくりは、拠点をどこに置き、どのように充実させるのか、町づくりの方向性を考えるべき。そうすれば、おのずと地域のコミュニティが図れると思われます。

難しい

人口減少により又、高齢化により今まで出来ていた色々な地域の活動や仕事は住民一人ひとりの協力がなくしてはできないと思うから。

今までより高齢化に向かうであろう。自分も近い将来、その年になる。今は車の運転が出来るが、無理になった時の不安が満ち、その時の不自由さを考えると行政区での活動を増やして欲しい。

九重町将来像アンケート 結果

【質問2】九重町の今後のまちづくりの方向性について、あなたはどちらに向かうべきだと思いますか？

《①地域コミュニティの充実》を選んだ理由

行政区の維持を図るために行政区の見直しも必要

自然環境を活かした魅力的な町に（温泉・山々）

地域のつながりを深めその地区に住んでよかったと思うような地域づくりを深め、若者が帰ってこれる美しい田舎づくりをする必要がある。

お年寄りが増え、自分もそうなった時人とつながりやすい形が出来ていたらうれしいから。

それぞれの自分のふるさとを大切にしながら、それぞれの地域の人々が、自分の地域の特性を活かし、人々が協力し合って信頼関係を構築していき、特性のある小さな九重町を作っていくことが大切ではないでしょうか。

人が少なくなればエリアを絞るのもひとつかもしれないが、生まれ育った所を捨てたくない人もいるだろうし、町内の田舎にも良い場所はたくさんあるだろうから、広いからこそ住民同士が密になりそれぞれの良いところを引き出せたらいいのではないかと思う。

昔は知らないが、九重町においての地域コミュニティとは町としてどう考えているのか。

子育てや介護を地域でできるような町づくりをしてほしい。

需要と供給。

人口が少なくなり、地域の人と対話も少なくなってくるので。

生まれ育った土地に住んでいたい人もいると思うので、コンパクトに集中させるのはどうかと思う。地域を充実させた方がよいと思う。

今住んでいる場所から集住することは難しいのではないか。

これから高齢者が増えて、一人住みの高齢者の孤独死がないように人々のコミュニティをしっかりとすることで防ぐことができるのではと考えました。人との距離が近すぎるとあまりにもプライベートがないと感じるデメリットはあるかと思いますが、その反面メリットもあると考えました。メリットを最大限に活かすことができるよう努力しなければいけないと考えました。高齢者の孤独死、一人親家族というように支え合っていけば、自殺やその他の病気などを防ぐことができるのではないかと考えました。

今住んでいる土地や家から離れることは難しいと思います。特に年配者にとって、自宅に住み続けられる環境が精神的にも安心できると思うからです。その為には、地域での助け合いが必要だと思います。しかし、自然災害が大きくなって危険と判断すれば住み替えもやむを得ないとも思いますが・・・安心と安全を両立しながらですね。

コンパクトな町づくりが望ましいが、面積も広く散点しているので無理ではないかと思う。

人口が減少すれば、地域交流し、つながりを大切にし、お互いが助け合うことが大事と思う。

例えば、お客の入らない旅館を介護施設にするなどすれば、新規の労働者の確保、施設に入れない待機老人の解消など老老介護の負担が減れば、仕事が増え、人が残っていくと思う。

若い世代をもっと受け入れれば、地域が維持できるのでは。

コンパクトな町の方が効率は良いのですが、九重町はなんといっても広い。そして、四地区それぞれ特性が違うので、各地区単位でコミュニティを充実させて、地域の活性化をした方が住民は暮らしやすく、満足度は高いと思います。中心集中は、九重町には向かないのでは？

昔は、地域で子育てをしていたイメージがあり、そのような形になると人とのつながりもできていいのではないかと思います。

住民と行政の連携がとれる町づくり。

まずは、地域の絆がしっかりとしていなければ、どんないい九重町をめざそうとしても無理だと思ったからです。

安心安全な生活を送るために、地域コミュニティの役割は大きい。暮らしやすい町づくりを進めるため、地域の結びつき活性化が重要。

人口減少が高齢化が進み、十分な医療・介護サービスを確保することが困難な状況で、高齢者が住み慣れた地域や自宅を生活の場として自分らしく生活を送ることが大切と考える。そのためには、医療者だけでなく、地域の力を活かして高齢者を支えていく環境が大切であると感じたから。